

安全人報誌

安衛委 No108
平成22年11月18日
安全衛生推進委員会

年末年始無災害運動

年末年始に発生する労働災害の

要因として、工事の輻輳化、厳しい工程の要請による休日労働や時間外労働による疲労、作業手順を省略した不安全な行動、機械設備等の安全点検の不足等の安全衛生管理不徹底、また休暇後の年始に作業の体制が整わないことなどが

考えられるため、「施工管理体制の強化」「作業員の健康状態の把握と適正な配置」等を行い、無理な作業の排除に努め、さらに休憩設備等職場環境を整備し、三大災害（墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害）

防止対策、交通労働災害防止対策の徹底

底を行

い、労働災害

防止活

動の原

点灯（PM4）、

飲酒する機会も増えてきますので

「乗るなら飲むな 飲むなら乗るな」を励行し、飲酒運転は絶対に

しないてください。また、運転する人には酒を勧めないでください

師走を迎えると、

何かとあわただし

くなり、運転中も

注意力が散漫し、

事故の起きやすい

状態が続きます。

夕暮れ時の早めの

点に立ち返って実施することが必要であることから、左記の期間実施します。

実施期間

平成二十二年十二月一日～

平成二十三年一月十五日まで

年末年始交通事故防止

朝礼で話がありましたように、

飲酒運転による逮捕者が相次いで

います。これから年末年始を迎え

ます。

飲酒する機会も増えてきますので

「乗るなら飲むな 飲むなら乗るな」を励行し、飲酒運転は絶対に

しないてください。また、運転する人には酒を勧めないでください

師走を迎えると、

何かとあわただし

くなり、運転中も

注意力が散漫し、

事故の起きやすい

状態が続きます。

夕暮れ時の早めの



十分な車間距離（路面凍結によるスリップ）、余裕をもった早めの出発等を心がけて事故防止をしてください。

風邪に注意

朝晩の寒さが冷え込み体調を崩しやすくなつてきており、マスクをつけている人が増えてきました。

風邪は寒さや冷えが原因で起こるといふよりも、ほとんどがウイルスに感染して風邪をひきます。

予防法は、栄養バランスの良い食事、規則正しい生活、十分な睡眠

適度な運動、ストレスをためない

マスクの着用、部屋の感想を防ぐ

衣服でのこまめな体温調節、帰宅

時の手洗い・うがい、乾布摩擦、

禁煙、喉を冷やさない等です。

日常から注意することによつて、

予防できることなので、薬に頼ら

ずに自分自身で免疫力を高める注

意をすることが大切です。

風邪を引いてしまった場合は、安

静・栄養・保温を心がけましょう。

忙しく毎日を過ごす一番最初に

犠牲になるのが健康です。

日常生活でも自分の体調に気をつ

けつつ、長い目をもつて健康な体

を維持できるようにして下さい。

各現場での安全対策又は

ヒヤリ体験談

今回は、生活基盤緊急改善工事担当の安瀬勝則さんです。

今回現場でのヒヤリ体験をとの事で思い起こせば、交通規制の中で自社の車が規制区域内から通行車線に進路変更した際に、一般車が近くまで来ていた事がありヒヤリとしたことが有りました。

朝のミーティングでは、交通誘導員の指示に従って規制区域内への出入りを

する様に指示を出していましたが、誘導

員の現場での配置の変化（当初は、短区

間で行っていたが脇道からの誘導も行う

様になり規制区間を長くした」と作業終

盤における資材の搬入が頻繁になり、誘

導員と作業員とのコミュニケーションが

とりにずらくなつたこと、作業員による誘

導ができず運転手による自己判断による

車線変更し

たことによ

り起きてし

まった。

作業員には

もう一度誘

導員と確認

してから行

動するよう

